

1

都市づくりの視点

これからの都市づくりに向けて

(1) これまでの都市づくりと課題

■ 北ひろしまの現状

北広島市は、道都札幌市の都心からおよそ24kmに位置する地理的条件と優れた交通網に恵まれ、昭和40年代から50年代にかけて押し寄せた都市化の波を都市づくりのエネルギーとして、良好な住環境をもつ大規模住宅団地をはじめとする住宅地の開発・整備が進められ、同時に計画的な工業団地の配置を行うなど住機能を中心とした住と職が近接する都市として成長してきました。

また、計画的な市街地整備を進めてきた結果、道路、公園・緑地や上下水道などの都市基盤は高い水準で整備されており、市街地周辺には田園地帯が、市の中心部には野幌原始林の面影を残す国有林などがあり、緑豊かな都市環境を形成しています。

■ 人口の見通し

北海道における人口動態は、平成9年をピークに減少傾向にあり、急激な増加を続けていた札幌圏においても人口の伸びはゆるやかになってきています。本市においても、これまでのような急激な増加は見込まれないものの、これからも人口はゆるやかに増加していくものと予想され、また世帯規模の縮小による世帯数の増加、さらなる少子高齢化の進行なども予想されています。

■ 都市型社会*への移行

これまでは人口、産業が都市部に集中し、都市が外側に拡大するといった都市化が急激に進展しました。その結果、都市周辺の自然や農地の消失、中心市街地の衰退、郊外部における交通混雑や環境問題の発生などを招きました。

本市においても、今後はこれまでの外延的拡大型の都市づくりから転換を図り、蓄積された既存の都市基盤を有効に活用しつつ、自然環境と調和した都市環境の形成、地区の特性をふまえたきめ細かな市街地づくりを基本とし、都市計画や他の分野の施策と連携して、安全で安心に暮らせる身近な生活空間や生活環境の質の向上に取り組んでいくことが必要となっています。

(2) これからの都市づくりと視点の転換

このような動向や課題に対応し、北ひろしまがより一層快適な都市環境を形成し、活力ある成長を続けていくためには、既存の都市基盤を最大限に有効活用するなかで、次の5つの視点にたって、次世代が快適な生活を享受することができる環境を保全しながらも現世代の生活の質の向上を図っていく都市づくりへと転換を図る必要があります。

*都市型社会 市街地を拡大していくのではなく、これまで都市に整備された社会資本を最大限活用し、安定した都市環境が形成された社会。

■ これからの都市づくりの視点 ■

① 地区の特性を生かした活力ある都市づくり

各市街地の特性をふまえた計画的な土地利用と、市民の活動や産業活動を支える交通施設など都市機能の充実を図るとともに、高い生活利便性を備えた環境の実現に努めることが必要です。さらに、職と住が近接した札幌圏における産業機能集積の一端を担い、同時に、市内における多様な雇用機会が提供される活力ある都市づくりを進めることが必要です。

② 自然環境の保全・創出と安全で住みよい都市づくり

自然環境の保全と創出により、都市としての快適性の向上を図るとともに、公害や災害を防止し、環境負荷*の少ない都市構造や、安全で住みよい都市環境の形成が必要です。

③ やさしさと個性にあふれ、安心して暮らせる地区環境の創出とコミュニティ*の活力を高める都市づくり

それぞれの地区の特性を活かしながら、市民が互いに支えあい、住み続けられる地区づくりを進めるとともに、安心して暮らせるよう福祉に配慮した都市づくりに努め、やさしさあふれる地区環境の創出を図ります。また、多様な活動や交流が活発に展開する環境を整え、互いの交流を通じた強い結びつきが生まれる都市づくりを目指すことが必要です。

④ 都市基盤の効率的な活用による快適な都市づくり

行財政をとりまく環境が一段と厳しさを増すなかで、既存の都市基盤の適切、かつ効率的な活用を図り、快適で活力ある都市を支える機能の確保に努めることが必要です。

⑤ 環境との調和と共存が図られる都市づくり

良質な生活環境が確保されていくためには、土地の高度利用や自動車に頼らない交通網の整備などエネルギー効率のよい都市基盤の整備と維持・保全を進めるとともに、一人ひとりが環境問題に関心をもち、消費型から循環型地域社会*の形成に努めていくことが必要です。

*環境負荷 人の活動により環境に及ぼす影響であって、環境を保全する上で支障の原因となるおそれがあるもの。

*コミュニティ 地域社会の意味。居住地や関心をともにすることで営まれる共同体。

*循環型地域社会 環境への負荷を小さくするため、資源リサイクルなどを推進し、人間の活動により生じる物質を自然界の中で循環できるようにする社会。

2

都市づくりの理念

身近な生活環境の質の向上を図り、快適な都市生活を実現する

本市は、豊かな自然につつまれ、健康で活力に満ちた人びとが、活発な文化的・経済的活動を展開し、互いの交流を通じてやさしく、そして力強い結びつきのもとに環境と調和した快適な都市を目指しています。

本計画では、このような将来の北ひろしまを

現するためには、それぞれの地区が特性を活かした個性を磨きながら、人もまちも光り輝く都市として固く結ばれていくことが必要だと考え、都市づくりの視点と基本方向をふまえた理念を次のように定めます。

都市づくりの理念

個性あふれる地区まちが結びついた
緑豊かな都市

自然とふれあい 文化をはぐくみ
人びとが紡ぐ交流の絆が 個性ある5つの地区まちを結ぶ
快適で緑豊かな都市をめざして

3

都市づくりの目標

快適で緑豊かな都市を目指して

都市づくりの理念を実現するため、次の5つの都市づくりの目標を定めます。

■ 都市づくりの目標 ■

- ① **既成市街地の都市基盤の有効活用を基本とした、生活環境の質の向上を図ります**
市民のだれもがそれぞれの価値観やライフスタイルに応じて、心豊かな生活がおくれるよう、一定の都市基盤が整った既成市街地の有効活用を基本とした生活利便性の向上や、多様な住まい方に対応する土地利用など、人と環境にやさしい質の高い都市づくりを進めます。
- ② **緑豊かで快適な生活環境と活力ある都市づくりを進めます**
ゆとりと潤いのある快適度の高い生活環境の向上に努め、創造的・生活と活力ある経済活動などが活発に展開される、緑豊かな空間と都市機能が調和した都市づくりを進めます。
- ③ **安全・安心な環境のなかで、地区ごとの個性を伸ばし育てます**
東部地区、北広島団地地区、西の里地区、大曲地区、西部地区の5つの地区で、だれもが安全で安心して暮らせる生活環境の充実を図るとともに、それぞれの地区の特性を活かしながら個性を伸ばし、また育てることができる都市づくりを進めます。
- ④ **各地区のつながりを高める交通網の整備を進めます**
各地区間の人の移動や文化活動などの交流を活性化するため、自動車道路はもとより、人と環境にやさしい歩行者・自転車道路や公共交通の充実など、それぞれを結ぶ交通網の整備を進め、市民が生活の利便性を感じられる都市づくりを進めます。
- ⑤ **市の中心にある森林と周辺の空間を活用した交流機能の形成を進めます**
各地区の市民のつながりを深めるため、市街地に囲まれた市の中心部にある国有林などを核とした自然環境とその周辺空間を活用し、自然や文化、スポーツなど多様な分野での交流を促進します。